

動作環境

ハードウェア環境

CPU: Pentiumプロセッサまたは同等以上
メモリ: 256MB
ブータブルメディア作成用のCD-R/RWドライブ
マウス (推奨)
※EPIプラットフォームはサポートしていません。

サポートされるファイル システム

FAT16/32・NTFS・Ext2/Ext3・ReiserFS・Reiser4※1・Linux SWAP・DFS・XFS※2・JFS※2
※1: Acronis True Image Echo Enterprise Serverのみの機能です。
※2: XFSおよびJFSのファイルシステムの場合は、パーティションのサイズ変更機能はサポートされていません。また、Acronis True Image Echo Enterprise Serverのみの対応です。
上記のファイルシステム以外の場合でも、セクタ単位でデータをコピーできます。

保存先としてサポートされるストレージメディア ※1 ※2

・ハード ディスクドライブ
・Network Attached Storage (NAS) のようなネットワーク接続されたストレージ デバイス
・テープライブラリ※3、オートローダー※3、SCSIテープドライブ
・IDEおよびすべてのレベルのSCSI RAIDコントローラ
・FTPサーバー※4
・CD-R/RW、DVD±R/RW
・USB 1.0/2.0 (セルフパワー推奨)、FireWire (IEEE-1394) およびPCカードストレージデバイス
・ZIP、Jazなどのリムーバブル メディア
※1: すべてのハードウェアでの動作を保証するものではありません。
※2: Fibre Channel使用時の制限事項: 製品CD、またはブータブルメディアを使用する際は、Fibre Channelケーブルを外して頂くか、SAN側の設定で全てのボリュームを不可視にしてください。
※3: DELL PowerVault T24t、HP AH164A以外でご利用になる場合はトライアル版にてご確認ください。Linuxエージェント非対応。
※4: FTPサーバーはファイル転送でバックアップモードを許可する必要があります。直接FTPサーバーからデータを復元するには、アーカイブのサイズが2GB以下である必要があります。

サポートされるOS

●Acronis True Image Echo Workstation、Acronis True Image Echo Enterprise Server 共通
[Acronis True Image 管理コンソール]
Windows 2000 Professional SP4/XP Professional SP2/XP Professional SP3
Windows 2000 Server SP4/2000 Advanced Server SP4/Server 2003 SP2 (R2対応)
Windows XP Professional x64 Edition SP2/Server 2003 x64 Edition
Windows Vista SP1 すべてのエディション (VistaへのAcronisコンポーネントのリモートインストールを除く)
Windows Server 2008 (Hyper-Vを除く)
[Acronis ライセンス サーバー]
Windows 2000 Professional SP4/XP Professional SP2/XP Professional SP3

System requirements

Windows 2000 Server SP4/2000 Advanced Server SP4/Server 2003 SP2 (R2対応)
Windows Server 2008 (Hyper-Vを除く)
[Acronis バックアップ サーバー (バックアップ先)]
[Acronis グループ サーバー]
Windows 2000 Professional SP4/XP Professional SP2/XP Professional SP3
Windows XP Professional x64 Edition SP2
Windows 2000 Server SP4/2000 Advanced Server SP4/Server 2003 SP2 (R2対応)
Windows Server 2003 x64 Edition SP2 (R2対応)
Windows Vista SP1 すべてのエディション
Windows Server 2008 (Hyper-Vを除く)

●Acronis True Image Echo Workstation

[Acronis True Image エージェント for Windows (バックアップ対象)]
[Acronis True Image Echo Workstation (ローカル版)]
Windows 2000 Professional SP4/XP Professional SP2/XP Professional SP3
Windows XP Professional x64 Edition SP2
Windows Vista SP1 すべてのエディション (Acronisスナップリストアの機能を除く)

●(オプション) Universal Restore for Acronis True Image Echo Workstation

Windows 2000 Professional SP4/XP Professional SP2/XP Professional SP3
Windows XP Professional x64 Edition SP2
Windows Vista SP1 すべてのエディション

●Acronis True Image Echo Enterprise Server

[Acronis True Image エージェント for Windows (バックアップ対象)]
[Acronis True Image Echo Enterprise Server (ローカル版)]
Windows 2000 Server SP4/2000 Advanced Server SP4/Server 2003 SP2 (R2対応)
Windows Server 2008 (Hyper-Vを除く)
Windows Server 2003 x64 Edition SP2 (R2対応)
[Acronis True Image エージェント for Linux]
RedHat ES4.0/ES3.0/AS4.0/AS3.0/5※
※RedHat Enterprise Linux 5は、Desktopを除く

●(オプション) Universal Restore for Acronis True Image Echo Enterprise Server

Windows 2000 Server SP4/2000 Advanced Server SP4/Server 2003 SP2 (R2対応)
Windows Server 2008 (Hyper-Vを除く)
Windows Server 2003 x64 Edition SP2 (R2対応)

●仮想ソフト

VMware、Microsoft Virtual Server、Citrix XenServer、Parallels

ライセンス形態および価格

License forms and a prices

Acronis True Image Echo Enterprise Server

製品型番	製品名	標準価格	保守型番	年間保守
ATIECES-L9	ライセンス 1-9	¥125,000	ATIECES-H9	¥25,000
ATIECES-L24	ライセンス 10-24	¥115,000	ATIECES-H24	¥23,000
ATIECES-L49	ライセンス 25-49	¥110,000	ATIECES-H49	¥22,000
ATIECES-L99	ライセンス 50-99	¥106,250	ATIECES-H99	¥21,250

オプション製品 Acronis Universal Restore for Acronis True Image Echo Enterprise Server

製品型番	製品名	標準価格	保守型番	年間保守
URATIECES-L9	ライセンス 1-9	¥40,000	URATIECES-H9	¥8,000
URATIECES-L24	ライセンス 10-24	¥36,800	URATIECES-H24	¥7,360
URATIECES-L49	ライセンス 25-49	¥35,200	URATIECES-H49	¥7,040
URATIECES-L99	ライセンス 50-99	¥34,000	URATIECES-H99	¥6,800

Acronis True Image Echo Workstation

製品型番	製品名	標準価格	保守型番	年間保守
ATIECW-L9	ライセンス 1-9	¥10,000	ATIECW-H9	¥2,000
ATIECW-L24	ライセンス 10-24	¥9,200	ATIECW-H24	¥1,840
ATIECW-L49	ライセンス 25-49	¥8,800	ATIECW-H49	¥1,760
ATIECW-L99	ライセンス 50-99	¥8,500	ATIECW-H99	¥1,700

オプション製品 Universal Restore for Acronis True Image Echo Workstation

製品型番	製品名	標準価格	保守型番	年間保守
URATIECW-L9	ライセンス 1-9	¥4,000	URATIECW-H9	¥800
URATIECW-L24	ライセンス 10-24	¥3,680	URATIECW-H24	¥740
URATIECW-L49	ライセンス 25-49	¥3,520	URATIECW-H49	¥710
URATIECW-L99	ライセンス 50-99	¥3,400	URATIECW-H99	¥680

お問い合わせ先

製品やトライアルCDに関する最新情報はホームページをご覧ください。

<http://www.runexy.co.jp/products/trueimage-echo-es/>

販売元



株式会社ラネクシー 営業本部 営業企画室

〒169-0073 東京都新宿区百人町1-22-17

URL: <http://www.runexy.co.jp>

TEL: 03-5337-6435 FAX: 03-5337-6120 E-Mail: bpo@runexy.co.jp

Copyright ©Acronis Inc., 2000-2008. All rights reserved.
AcronisとAcronisのロゴ、True Image ServerとTrue Image EchoのロゴはAcronis, Inc.の登録商標です。
その他、記載されている会社名、製品名は各社の登録商標です。
< 2008.9 >



仮想環境に対応した、集中管理可能な イメージバックアップ&リカバリー・ソリューション

Acronis True Image Echo™ Enterprise Server Workstation

Windows、Linuxサーバーのバックアップを集中管理 クライアントPCのバックアップを集中管理

Acronis True Image Echo Enterprise Serverは、WindowsやLinuxサーバー向けのソフトウェアです。
Acronis True Image Echo Workstationは、クライアントPC向けのソフトウェアです。

Acronis True Image Echo Enterprise ServerおよびAcronis True Image Echo Workstationは、コンピュータのOS、アプリケーション、各種設定、データを含むディスク全体のバックアップイメージを作成し、仮想環境や物理環境、ネットワークやOSなどのインフラストラクチャを問わない環境をネットワーク上で集中管理することができます。

万が一の場合には、システムの実行に必要なすべてを含んだイメージからシステム全体を復元することができるので、再セットアップのために多くの手順や時間を消費する必要がありません。
オプションを追加すると、ハードウェアに依存しないシステムの移行を実現します。

特徴

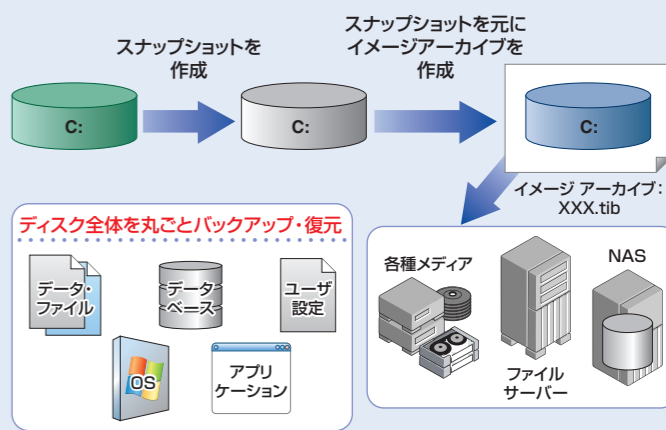
- **NEW** バックアップファイルの暗号化
- **NEW** 仮想環境のバックアップ・復元
- **NEW** バックアップファイルを仮想化ソフトの仮想ディスクへ変換
- **NEW** ダイナミックボリュームの作成・復元
- **NEW** バックアップファイルの統合
- システムを停止することなくバックアップが可能
- OS、アプリケーション、各種設定、データを含むディスク全体をバックアップ・復元
- ファイルやフォルダ単位のバックアップ・復元に対応
- ネットワーク上の複数のサーバー、またはクライアントを集中管理
- イメージアーカイブの最大数と格納期限の割り当てが可能
- バックアップのスケジューリングが可能
- オプションを追加すると、ハードウェアに依存しないシステムの移行が可能
- Windows (Vista含む)、およびLinuxプラットフォームに対応

Overview

イメージバックアップの特徴

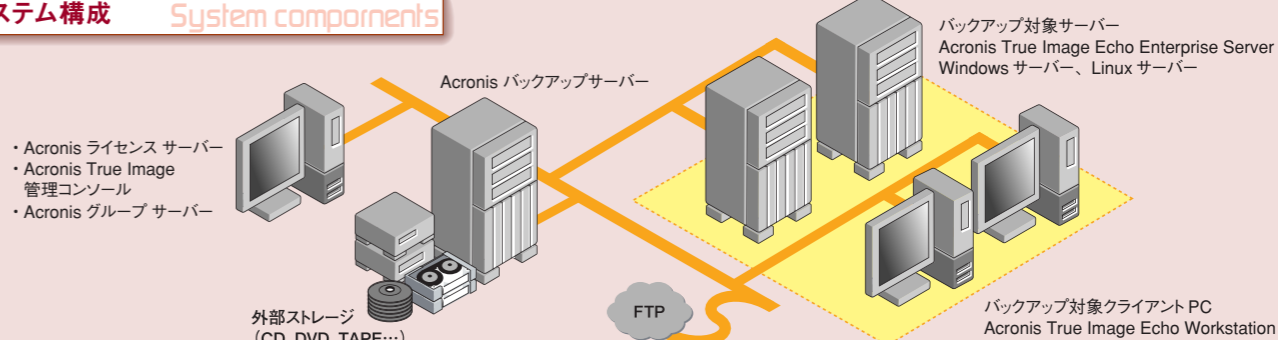
Image back up

OS・アプリケーション・各種設定・データを含むディスク全体やパーティションをイメージアーカイブ化します。



システム構成

System components



アーキテクチャ

Architecture

製品は下記のコンポーネントで構成されています。

コンポーネント名	説明
Acronis True Image 管理コンソール	操作・設定などの集中管理
Acronis ライセンス サーバー	Acronis 製品のライセンスを集中管理
Acronis True Image エージェント for Windows	リモートからバックアップや復元を実行 (集中管理の操作対象)
Acronis True Image エージェント for Linux ※1	リモートからバックアップや復元を実行 (集中管理の操作対象)
Acronis バックアップ サーバー	バックアップファイルのクォータ管理など
Acronis グループ サーバー	グループバックアップのタスクの作成・バックアップステータスの表示
Acronis True Image Echo Enterprise Server/Workstation (ローカル版)	ローカルでバックアップや復元を実行
<オプション> Acronis Universal Restore	異なる構成 (ハードウェア) のコンピュータへの復元

※1: Acronis True Image Echo Enterprise Server のみ対応

機能

バックアップ

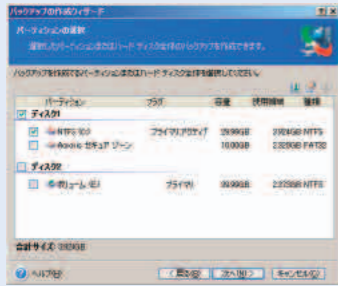
複数のサーバーや仮想マシン、またはクライアントPCを集中管理

集中管理コンソールで、ネットワーク上のサーバー※1や仮想マシン、またはクライアントPC※2など、すべてのシステムをドメインやワークグループに関わらず、一元管理ができます。Acronis ブータブル エージェントにより、オフライン時のリモート操作によるバックアップ・復元も可能です。

※1: サーバーのバックアップは Acronis True Image Echo Enterprise Server が必要です。
※2: クライアントPCのバックアップは Acronis True Image Echo Workstation が必要です。

システムのホットイメージング

Acronis Drive Snapshotの技術により、稼働中のコンピュータのシステム領域のディスクイメージをバックグラウンドで作成します。OSのファイル、マスターブートレコードおよびパーティション ベースのレコードを再起動することなくバックアップし、イメージを作成することができます。



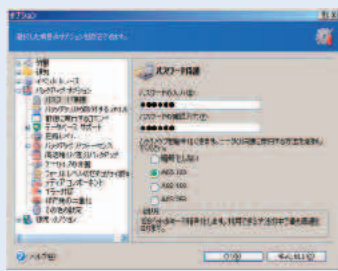
ファイルバックアップ・復元

ディスクやパーティションのイメージバックアップ機能に加え、ファイルやフォルダ単位でのバックアップが可能です。また、復元から除外するファイルの種類を指定することもできます。

NEW

バックアップ ファイルの暗号化

パスワードを設定すると、業界標準のAES暗号アルゴリズムによって高度なセキュリティを実現する、バックアップの暗号化を選択できます。暗号化は、なし、128、192、256ビットの4つから選択できます。



Microsoft ボリュームシャドウコピーサービスに対応※

VSS 準拠データベース (Microsoft Exchange、SQL Server) のバックアップ時に、データベースを停止することなくバックアップデータの一貫性の確保ができた状態でのバックアップの取得ができます。(VSS 対応 OS は XP 以降です)

Oracle やグループウェアなどデータベースまたは OS が VSS をサポートしていない場合は、バックアップ処理の前後でのユーザコマンドを使用することにより、データベースの停止 / 開始を行います。スケジュールによるデータベースを含むシステムの自動バックアップが可能です。

※ Acronis True Image Echo Enterprise Server のみ対応

Features and Benefits

WindowsとLinuxプラットフォームに対応※

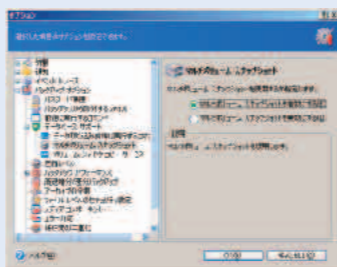
Windows ベースのシステムと、Linux プラットフォームにインストールする2種類のエージェントがあります。

※ Acronis True Image Echo Enterprise Server のみ対応

NEW

マルチボリューム スナップショット

複数のボリュームに存在するデータをバックアップする場合は (例えば、ボリュームに分散しているデータベース)、マルチボリューム スナップショットの機能を有効にすると、複数ボリューム間の一貫性を維持できます。この場合は、すべてのボリュームで1つのスナップショットが作成されます。有効化しない場合は、スナップショットはボリュームごとに作成されます。



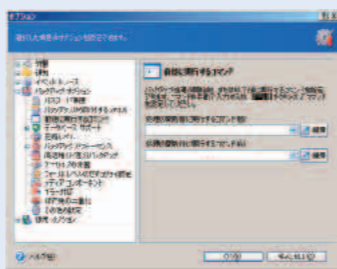
NEW

ダイナミック ディスク対応

Acronis True Image Echo Enterprise Server (ローカル版) や Acronis True Image エージェント、ブータブル メディアからでもダイナミック ディスクを利用できます。ブータブル メディアから起動して、ヘアメタルのディスク状態でもダイナミック ディスクを簡単に作成することができます。

バックアップ / 復元処理の前後でのユーザーコマンド

バックアップまたは復元処理の前に実行するコマンドを指定できます。たとえば、バックアップ開始前に一時ファイルをディスクから削除する場合、またはバックアップの開始前に毎回、サードパーティのアンチウイルス製品を開始するように構成することができます。



DVD への直接書き込み

パケットライティングソフトウェアがインストールされていないコンピュータでも、DVD ± R/RW へ直接イメージを書き込むことが可能です。ブータブル メディアからの起動でも、DVD イメージを書き込むことができます。

Acronis セキュア ゾーン

コンピュータシステム上にあるバックアップアーカイブを保存するための、特別な非表示パーティションです。アーカイブのセキュリティ確保のために、通常のアプリケーションからはアクセスできませんが、ウィザード画面では一覧表示されます。Acronis セキュア ゾーンは、作成、削除、サイズ変更をすることができます。

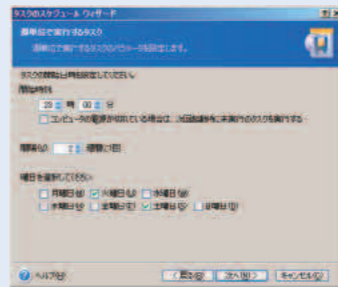
NEW

バックアップの二重化

Acronis セキュア ゾーンに作成したバックアップのコピーを自動的にネットワーク上の共有フォルダに作成します。コピーされたアーカイブの一貫性は自動的に維持されます。

バックアップの自動化と通知、不良セクタを無視

グループごとに日 / 週 / 月単位でイベントに対するバックアップタスクのスケジュールを作成することができます。また、バックアップの実行を確認する場合や、ユーザーの操作が必要な場合には、電子メールまたはポップアップにより通知を要求できます。新バージョンでは不良セクタの無視を有効に設定することができます。ポップアップ ウィンドウが表示されずに不良セクタ以外のデータがバックアップされ、その後イメージをマウントして他のディスクに有効なファイルを抽出することができます。



完全バックアップ、増分バックアップ、差分バックアップ

完全バックアップ、増分バックアップ、差分バックアップの3種類のバックアップを作成することができます。

NEW

バックアップファイルの統合

増分バックアップを含んだアーカイブを統合することができます。選択したバックアップの一貫性のあるコピーを作成し、不要な中間ファイルを消去することができます。

リカバリー

CD ブートでシステムを復元

障害発生によりシステムが起動しなくなった場合でも、事前に作成したブータブル メディアからコンピュータを起動し、ネットワーク上のイメージを簡単に復元することができます。

※ Linux に対応していないシステムでは起動メディアからの起動はできません。Linux への対応についてはお使いの PC メーカーにお問い合わせください。

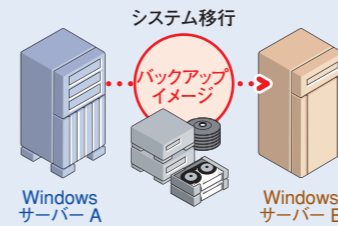
OPTION

Acronis Universal Restore (ユニバーサル リストア)

ハードウェアに依存しないシステムの移行

Acronis Universal Restore テクノロジーは、HAL の初期化およびハードディスクコントローラのドライバを置き換えることにより、ハードウェアに依存しないシステムの移行を実現します。また、Sysprep との併用も可能です。例えば、コンピュータが物理的にクラッシュしてしまった場合、新しいコンピュータへの復元としての利用もできます。ドライバの検索で使用されるドライバの保存場所を指定できるため、ドライバを探す必要がありません※

※ 各ハードウェアのドライバは別途必要です。RAID から通常の HDD、通常の HDD から RAID へのブータブル システムの移行はできません。ダイナミック ディスクおよびダイナミック ボリュームの復元を行う場合には使用できません。※ ハードウェアによっては、イメージ作成前に新しいハードウェア用のドライバをあらかじめインストールしておく必要があります。



仮想環境対応

※ 仮想環境を Acronis で活用いただく場合には、事前に VMWare Tools や Xen Tools、Parallels Tools など仮想環境に依存したドライバをアンインストールしてからイメージを作成してください。

NEW

仮想マシン (ゲスト OS) のバックアップ

仮想マシン (ゲスト OS) のシステムを停止することなくバックアップできます。

NEW

仮想ディスク ファイルへの変換

Windows のバックアップイメージを VMware、Microsoft Virtual Server、Citrix XenServer、Parallels の仮想マシンの仮想ディスク ファイルへ変換することができます。

管理

管理コンソール

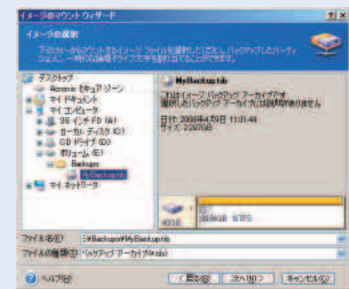
Acronis True Image 管理コンソールから、ネットワーク上の全てのコンピュータの集中管理 (バックアップ、復元、ステータス管理など) が行えます。また、バックアップのタスクをリアルタイムに管理および監視することができます。

バックアップパフォーマンスに関する設定

イメージ作成処理の優先度を変更できるので、CPU 使用を制御他のアプリケーションの作業パフォーマンスを低下させることなくバックアップすることができます。また、バックアップ中のハードディスクの書き込み速度とネットワーク帯域幅を制御できるため、バックアップ中の負荷を最小限に抑えることができます。

イメージマウント機能

保存したバックアップイメージ (ディスクまたはファイル) の内容を復元せずにマウントすることができます。イメージをマウントすることで、必要なファイルだけを復元することができます。イメージを書き込み可能モードでマウントするとイメージ内のファイルを編集、追加することができます。



バックアップ アーカイブのペリフェイ

アーカイブが損傷していないか、チェックサムによる整合性を確認できます。

NEW

コンピュータリストのインポートとエクスポート

他のアプリケーションや新しいバージョンの Acronis グループ サーバーで使用するため、.txt や csv 形式によるコンピュータ リストをインポートとエクスポートすることができます。

NEW

Wake On LAN

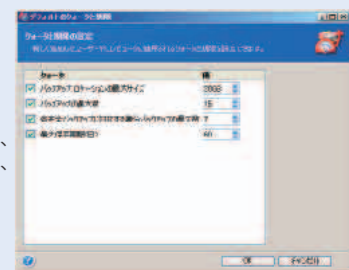
バックアップのためにコンピュータをリモートで起動させます。

無人システムをリモート復元

Acronis ブータブルエージェントをブータブル メディアまたは RIS パッケージに追加すると、管理者はこのディスク / RIS サーバーから起動し、管理コンソールを使用して、リモートコンピュータを管理することができます。これにより、ブレードサーバーなどの無人システムをリモートから復元できます。

バックアップ ロケーション、クォータと期限の設定

Acronis バックアップ サーバーでは、それぞれのコンピュータに対してバックアップの保存先やクォータと期限といったサイズや保存期間に関する制限を設定することができます。バックアップの保存先に対し、バックアップの保存期間、最大数、最大容量を設定することにより、ディスクを使い過ぎないように管理することができます。



通知

処理の終了を WinPopup サービスまたは電子メールにより通知することができます。また、処理中に発行されたメッセージを複数の送信先に通知することもできます。処理終了後のすべての処理ログを送信することもできます。※ Acronis True Image エージェント for Linux は WinPopup 未対応

イベントログの表示と追跡

障害の原因などをはじめ、スケジュール設定されたタスクの結果に関する情報が表示されます。イベントログメッセージを Windows イベントログに保存するか、また、SNMP 通知が実行されているコンピュータに送信するかどうかを選択できます。※ Acronis True Image エージェント for Linux は未対応

